



# 子どもたちが‘ほっと’できる居場所づくりをしてみませんか？

地域の方などが放課後、休日、長期休業中の子どもの居場所づくりを行うお手伝いをする「Shiogamaこどもほっとスペースづくり支援プログラム」。今回は、平成29年度にこの事業を活用し、活動をしている方を紹介します。皆さんも子どもたちが‘ほっと’できる居場所づくりをしてみませんか。

## 英語と算数であそぼうの会 代表 日野秀逸さん

ゲームをしながら英語や算数などの勉強をしています。

楽しみながら勉強することで、子どもたちと笑顔があふれる時間を共有したいと思い活動しています。



## 清水沢東 こどもカフェ 代表 山田みちえさん

放課後に安心して過ごせる場所です。子どもが大好きな人が何人かいて、できることを出し合っていけば、誰でもできます。

できることから始めて、少しずつ工夫をしていけばと思いつながりながら活動しています。



## がまっこぶれーぱーく 代表 戸井香織さん

公園などでロープ渡りやハンモックなど自由に遊べるあそび場を提供しています。

遊びに行く場所がない、何かつまらない…という子どもたちの思いを、少しでも和らげるお手伝いをしたいと思っています。



子どもの居場所づくりスタートアップのための助成金を予定しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



問 子育て支援課家庭支援係 ☎353-7797



## 塩竈市独自の小中一貫教育

～未来に羽ばたく塩竈っ子のために～

シリース **今、学校では** 63

### しおがま「学びの共同体」による授業づくり

本市独自の小中一貫教育は、2年目を迎えました。今年度から市内すべての小中学校において、どの子も「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくりに取り組みます。

この授業づくりは、平成32年度から小学校、平成33年度から中学校でスタートする新学習指導要領の中核である「主体的・対話的で深い学び」による授業改善に先駆的に取り組むものです。一人の教師が子どもたちに講義形式で授業を行う「一斉授業」から、子どもたちが対話をおして問題解決に取り組む「協同的な学びの授業」へ転換を図ります。



▲机をコの字型に並べて行う協同的な学び



この授業改革は、学校だけではなく、保護者や地域の皆さんの協力もいただきながら、児童生徒、教職員、保護者・地域の三者が連携して「学びの共同体」を組織し、授業をより質の高いものにしていくものです。

各学校での取り組みはスタートしたばかりですが、機会があれば学校に足を運び、新しい授業スタイルをのぞいてみてください。

◀男女混合4人グループの協同的な学び

問 学校教育課学校教育係 ☎365-3216